

DERWENT-ACC-NO: 2003-499704

DERWENT-WEEK: 200347

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Insurance gift system using  
Internet, authenticates gift  
certificate to provide insurance  
subscription application  
to sender terminal

PATENT-ASSIGNEE: DAITOKYO KASAI KAIJO HOKEN KK[DAITN] ,  
GLOBAL AGENT  
KK[GLOBN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0367709 (November 30, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	
LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2003168007 A	June 13, 2003	N/A
007	G06F 017/60	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003168007A	N/A	
2001JP-0367709	November 30, 2001	

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003168007A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A gift certificate issue server (31) issues insurance gift certificate according to the requirement from the sender terminal (41). An authentication unit authenticates the gift certificate in order to provide the insurance subscription application to the sender terminal. The insurance premium is then paid to start the insurance.

DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included for the following:

- (1) insurance gift method; and
- (2) insurance gift program.

USE - For providing gift certificate to short time insurance policy holders especially for persons playing golf and going for trip using Internet.

ADVANTAGE - Provides gift certificate which takes out insurance policy at a specified time, and enables the insurance company to increase the contract.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of insurance gift system.

gift certificate issue server 31

sender terminal 41

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: INSURANCE GIFT SYSTEM GIFT CERTIFY INSURANCE  
SUBSCRIBER APPLY SEND  
                TERMINAL

DERWENT-CLASS: T01

EPI-CODES: T01-J05A1; T01-J05A2E; T01-N01A2C; T01-S03;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-397534

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2003-168007  
(P2003-168007A)

(43) 公開日 平成15年6月13日 (2003. 6. 13)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコ-ト <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 E
	3 2 4		3 2 4
	5 1 2		5 1 2
	Z E C		Z E C

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-367709(P2001-367709)

(22) 出願日 平成13年11月30日 (2001. 11. 30)

(71) 出願人 501464934

株式会社グローバル エージェント  
東京都港区芝大門2-11-16

(71) 出願人 592018320

あいおい損害保険株式会社  
東京都渋谷区恵比寿一丁目28番1号

(72) 発明者 稲葉 和則

東京都港区芝大門2-11-16 株式会社グ  
ローバルエージェント内

(74) 代理人 100103805

弁理士 白崎 真二

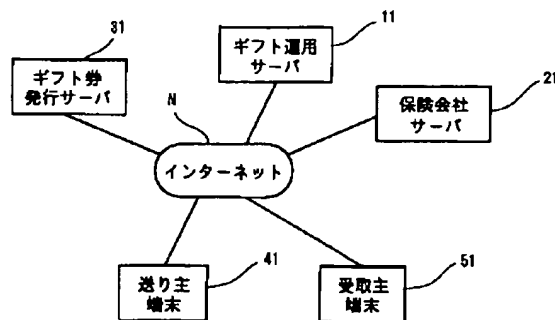
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 保険ギフトシステム、保険ギフト方法、及び保険ギフトプログラム

(57) 【要約】

【課題】 インターネットN、及びその他通信網を使用して保険に加入する権利を贈答品として贈り、この贈り物を受け取った者はインターネットN、及びその他通信網を使用して、所望の時期に所望の金額の保険に加入することが可能な保険ギフトシステムを提供する。

【解決手段】 保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトシステムであって、贈り物の送り主4からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売手段と、ギフト券の受取主5からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証手段と、認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済手段とを備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトシステムであって、

前記保険ギフトシステムは、

前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売手段と、

前記ギフト券の受取主からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証手段と、

前記認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済手段とを備えたことを特徴とする保険ギフトシステム。

【請求項2】前記ギフト券は、保険金が支払われる対象となる行為及び保険料が予め決められていることを特徴とする請求項1に記載の保険ギフトシステム。

【請求項3】前記ギフト券は、補償期間が短期の保険に適用されることを特徴とする請求項1または2に記載の保険ギフトシステム。

【請求項4】前記ギフト券は、有効期限が決められていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載の保険ギフトシステム。

【請求項5】前記ギフト券は、贈られた時点で認証番号が隠されており、スクラッチすることによって、該ギフト券に付与された認証番号が表れることを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の保険ギフトシステム。

【請求項6】保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトシステムであって、

前記保険ギフトシステムは、

前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険加入権利を販売する保険加入権利販売手段と、

前記送り主に対して保険加入権利を販売したことを受けて、受取主に対して前記送り主から保険加入権利の贈り物があることを通知するギフト通知手段と、

前記受取主からの保険加入申込を受け付け、保険料の決済を行い、保険を開始する決済手段とを備えたことを特徴とする保険ギフトシステム。

【請求項7】前記保険加入権利は、保険金が支払われる対象となる行為及び保険料が予め決められていることを特徴とする請求項6に記載の保険ギフトシステム。

【請求項8】前記保険加入権利は、補償期間が短期の保険に適用されることを特徴とする請求項6または7に記載の保険ギフトシステム。

【請求項9】前記保険加入権利は、有効期限が決められていることを特徴とする請求項6ないし8のいずれかに記載の保険ギフトシステム。

【請求項10】前記保険ギフトシステムは、インターネットを介した電子メールによって保険加入権利の贈り物があることを受取主に対して通知することを特徴とする請求項6ないし9のいずれかに記載の保険ギフトシステム。

【請求項11】保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフト方法であって、

前記保険ギフト方法は、

前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売過程と、

前記ギフト券の受取主からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証過程と、

前記認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済過程とを有することを特徴とする保険ギフト方法。

【請求項12】保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトプログラムであって、

前記保険ギフトプログラムは、

前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売処理と、

前記ギフト券の受取主からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証処理と、

前記認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済処理とをコンピュータに行わせることを特徴とする保険ギフトプログラム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、保険に加入する権利をギフト券にして、保険を贈り物として取り扱う保険ギフトシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】アウトドアスポーツや旅行をする際に、当事者が怪我に遭うことも少なくないことから、そのような場合を補償する損害保険が知られている。しかしながら、年に数回しかゴルフや旅行をしない者にとって、年間を通じて損害保険に加入することは負担が大きくなるため、保険に加入していないのが現状である。このような利用者のために、ゴルフや旅行をする都度保険に加入することができるよう保険料が安価で補償期間が短い損害保険が用意されている。

【0003】しかしながら、短期加入の保険手続きが簡便でないため、ゴルフや旅行をしようとする場合に事前に損害保険に加入することは手間がかかるとともに、急遽旅行に行くことになったような場合は保険に加入することができず、結局保険には加入しない者が多くなるため、損害保険会社は、契約の拡大を図ることができないという問題がある。

【0004】本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、インターネット、及びその他通信網を使用して保険に加入する権利を贈答品として贈り、この贈り物を受け取った者はインターネット、及びその他通信網を使用して、所望の時期に所望の金額の保険に加入することが可能な保険ギフトシステムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトシステムであって、前記保険ギフトシステムは、前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売手段と、前記ギフト券の受取主からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証手段と、前記認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済手段とを備えたことを特徴とする。

【0006】請求項2に記載の発明は、前記ギフト券は、保険金が支払われる対象となる行為及び保険料が予め決められていることを特徴とする。

【0007】請求項3に記載の発明は、前記ギフト券は、補償期間が短期の保険に適用されることを特徴とする。

【0008】請求項4に記載の発明は、前記ギフト券は、有効期限が決められていることを特徴とする。

【0009】請求項5に記載の発明は、前記ギフト券は、贈られた時点で認証番号が隠されており、スクラッチすることによって、該ギフト券に付与された認証番号が表れることを特徴とする。

【0010】請求項6に記載の発明は、保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトシステムであって、前記保険ギフトシステムは、前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険加入権利を販売する保険加入権利販売手段と、前記送り主に対して保険加入権利を販売したことを受けて、受取主に対して前記送り主から保険加入権利の贈り物があることを通知するギフト通知手段と、前記受取主からの保険加入申込を受け付け、保険料の決済を行い、保険を開始する決済手段とを備えたことを特徴とする。

【0011】請求項7に記載の発明は、前記保険加入権利は、保険金が支払われる対象となる行為及び保険料が予め決められていることを特徴とする。

【0012】請求項8に記載の発明は、前記保険加入権利は、補償期間が短期の保険に適用されることを特徴とする。

【0013】請求項9に記載の発明は、前記保険加入権利は、有効期限が決められていることを特徴とする。

【0014】請求項10に記載の発明は、前記保険ギフトシステムは、インターネットを介した電子メールによって保険加入権利の贈り物があることを受取主に対して通知することを特徴とする。

【0015】請求項11に記載の発明は、保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフト方法であって、前記保険ギフト方法は、前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売過程と、前記ギフト券の受取主からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証過程

と、前記認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済過程とを有することを特徴とする保険ギフト方法。

【0016】請求項12に記載の発明は、保険に加入する権利を贈り物として取り扱う保険ギフトプログラムであって、前記保険ギフトプログラムは、前記贈り物の送り主からの要求に応じて、保険ギフト券を販売するギフト券販売処理と、前記ギフト券の受取主からの要求に応じて、保険加入申込時において該ギフト券の認証を行う認証処理と、前記認証結果を受けて、保険加入申込を受け付け保険料の決済を行い、保険を開始する決済処理とをコンピュータに行わせることを特徴とする保険ギフトプログラム。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態による保険ギフトシステムを図面を参照して説明する。図1は同実施形態の構成を示すブロック図である。この図において、符号11は、保険のギフト券を運用するギフト運用サーバである。符号21は、保険会社が所有する保険会社サーバである。符号31は、保険用のギフト券を発行するギフト券発行サーバである。符号41は、保険のギフト券を送る送り主が所有する送り主端末であり、インターネット閲覧ソフトウェアがインストールされている。符号51は、保険のギフト券を受け取る受取主が所有する受取主端末であり、インターネット閲覧ソフトウェアがインストールされている。これらの装置には、インターネットNを介して、相互に情報の授受が可能である。

【0018】ここで、図5を参照して、保険ギフトを取り扱う各業者の関係を説明する。図5は、各業者の関係を示す図である。図5において、符号1は、保険ギフトを販売・運用する保険ギフト運用会社であり、ギフト運用サーバ11を管理運用する。この保険ギフト運用会社1は、保険会社の代理店であってもよい。符号2は、保険会社であり、保険会社サーバ21を管理運用する。符号3は、保険用のギフト券を発行するギフト券発行会社であり、ギフト券発行サーバ31を管理運用する。符号4は、保険用のギフト券を贈り物として送る送り主であり、送り主端末41を所有する。符号5は、保険用のギフト券を受取り、保険に加入する受取主であり、受取主端末51を所有する。

【0019】まず、保険ギフト運用会社1は、送り主4からの要求に応じて保険用ギフト券を販売する。このギフト券の代金は送り主4が保険ギフト運用会社1に対して支払う。一方、保険ギフト運用会社1は、予めギフト券発行会社3に対してギフト券の発行を要求し、これに対してギフト券発行会社3は、要求された数だけギフト券を作成し、保険ギフト運用会社1に対して発行する。

【0020】送り主4は、保険ギフト運用会社1から購入したギフト券を受取主5に対して贈り物として贈る。

これを受けて、受取主5は、保険ギフト運用会社1に対して、保険の加入申込を行う。このとき、加入する保険の保険料は、ギフト券の額面に応じて決定し、必要な時期にギフト券の額面内において必要な分だけ保険の加入を行う。この加入申込を受けて、保険ギフト運用会社1は、保険の申込を保険会社2に対して行い、保険料の精算を行う。これによって、受取主5の保険申込が終了したことになる。受取主5（保険の申込者）は、必要に応じて保険金（補償金）の支払い要求を行い、保険会社2から保険金の支払いを受ける。

【0021】このように、保険会社の新たなマーケットとしてギフト市場をターゲットにおき、「安心を贈る」ことを目的に保険をギフト商品化することが可能となる。

【0022】次に、図2を参照して、図1に示す保険ギフトシステムの動作を説明する。図2は、保険ギフトの処理動作を示すシーケンス図である。初めに、ギフト券発行の動作を説明する。まず、ギフト運用サーバ11は、作業者の指示に基づいて、ギフト券発行サーバ31に対して、ギフト券発行要求を行う（ステップS1）。このギフト券発行要求には、ギフト券の種類と枚数の情報が含まれる。これを受けて、ギフト券発行サーバ31は、ギフト券の発行処理を行い、発行したギフト券をギフト運用サーバ11へ渡す（ステップS2）。この動作によって、保険ギフト運用会社1は、予めギフト券を発行してもらっておく。

【0023】ここで、ギフト券発行サーバ31によって発行され、ギフト運用サーバ11において、販売されるギフト券の種類を説明する。販売されるギフト券は、生活関連の補償を中心とした保険のギフト券であり、例えば、次の（1）～（3）に示す種類等がある。

（1）アウトドアスポーツ保険ギフト券

キャンプ、ハイキング、スキー、ゴルフ、釣り等をしているときに発生した損害を補償するもの。

（2）トラベル保険ギフト券

海外旅行、国内旅行等の旅行をしているときに発生した損害を補償するもの。

（3）ライフガード保険ギフト券

傷害、交通傷害等による損害を補償するもの。

【0024】上記の3種類のギフト券は、さらに、例えば次の（a）～（c）のいずれかの金額をそれぞれ選択することができる。

（a）補償金額500万円、保険料500円、補償する期間1週間

（b）補償金額800万円、保険料1000円、補償する期間1週間

（c）補償金額1200万円、保険料1500円、補償する期間1週間

上記の保険料は、受取主5がギフト券で支払うものであり、ギフト券の額面が保険料に相当する。また、ギフト

券には、有効期限（例えば3年間）が設定されており、この有効期限内に加入申込を行う必要がある。なお、保険の約款は、このギフト券が贈られるときに同封してもよいし、端末から確認できるようにしてもよい。

【0025】次に、送り主4がギフト券を購入し、このギフト券を受取主5へ贈り、受取主5が保険の加入申込を行う動作を説明する。まず、送り主4は、送り主端末41をインターネットNを介してギフト運用サーバ11へ接続する。これを受けて、ギフト運用サーバ11は、ギフト購入用の表示画面を送り主端末41へ送る。そして、送り主4は、この表示画面を使用して、ギフト券購入要求を行う（ステップS3）。このギフト券購入要求には、選択された保険の種類（上記の例では（1）～（3）のうちのいずれか）と選択された金額（上記の例では（a）～（c）のうちのいずれか）、及び送り主4を特定する情報（氏名、住所、連絡先の電話番号）とギフト券代金の決済方法の情報（クレジット番号等）が含まれる。

【0026】これを受けて、ギフト運用サーバ11は、要求されたギフト券を販売する（ステップS4）とともに、ギフト券の代金を決済する（ステップS5）。ここで、販売されたギフト券は、送り主4へ郵便等を使用して配送される。そして、送り主4は、このギフト券を所望の受取主5へ贈り（ステップS6）、受取主5はこのギフト券を受け取る。

【0027】図3にギフト券の一例を示す。この例は、「アウトドアスポーツ保険ギフト券」の例である。図3において、符号Gは専用の用紙に印刷されたギフト券である。符号B1は、ギフト券を一意に識別するための種別番号である。符号Sは、受取主5が受け取った時点では、認証番号が隠されている部分である。符号B2は、符号Sで示す部分をスクラッチする（剥ぎ取る）ことによって、表れた認証番号である。符号Sで示す部分がスクラッチされているか否かで、このギフト券を第三者が使用したか否かも判断できる。

【0028】次に、受取主5は、受取主端末51をインターネットNを介してギフト運用サーバ11へ接続する。そして、ギフト券使用登録を行う（ステップS7）。このとき、受取主5は、スクラッチすることによって表れた認証番号を入力し、ギフト運用サーバ11へ通知する。これを受けて、ギフト運用サーバ11は、受取主端末51から送られた発券番号及び認証番号をギフト券発行サーバ31に送り認証を行う（ステップS8）。この結果、認証ができない場合、ギフト運用サーバ11は、認証番号の認証ができなかった旨を受取主端末51へ通知する。これによって、ギフト券の不正使用を防止することができる。

【0029】一方、認証番号の認証が正常に行われた場合、ギフト運用サーバ11は、受取主端末51に対して、認証が正常に行われたことを通知する。そして、ギ

フト運用サーバ11は、受取主の属性情報の入力进行を要求する。これに対して、受取主端末51から受取主の属性（氏名、住所、性別、生年月日、電話番号、電子メールアドレス等）を入力する。ここで入力された属性は、ギフト運用サーバ11に対して送信され、この属性入力に対して、ユーザIDとパスワードを発行して、受取主端末51へ通知をする（ステップS9）。

【0030】ここで、発行されたユーザIDとパスワードは、本システムの保険の申込及びサービスにおいて使用され、ユーザIDとパスワードを有している受取主は、次回申込及びサービスにおいて属性を入力することなく申込が行われる。続いて、受取主端末51からユーザIDとパスワードを入力して、ギフト運用サーバ11に対して、保険の申込要求を行う。

【0031】これを受けてギフト運用サーバ11は、ここで入力されたユーザIDとパスワードが正しければ、受取主端末51の接続をリンクによって保険会社サーバ21へ移行させる。これを受けて、保険会社サーバ21は、申込画面を受取主端末51に対して送る。この申込画面に対して、受取主端末51から保険申込情報を入力する（ステップS10）。ここで入力された保険申込情報は、ギフト運用サーバ11を経由して保険会社サーバ21へ送られる。

【0032】この申込情報入力を受けて、保険会社サーバ21は、ギフト運用サーバ11に保険引受可否通知を行う（ステップS11）。そして、ギフト運用サーバ11は使用登録済ギフト券で保険料の決済処理を行う（ステップS12）とともに、加入申込者に対して電子メールを使用して保険引受通知、新たに発番した保険契約証番号または保険証券番号を配信通知する（ステップS13）。これによって、保険が開始される。

【0033】このように、ギフト券の有効期間内であれば、インターネット端末を使用して簡単に保険の加入申込を行うことが可能となり、また任意の期日に対して保険をかけることが可能となる。

【0034】次に、万一事故等が発生し、保険金（補償金）の支払いを受ける動作を説明する。まず、保険加入者（受取主5）は、受取主端末51をギフト運用サーバ11へ接続し、保険金支払い要求を行う（ステップS14）。このとき、受取主5は、先に保険会社21から配信された保険契約証番号または保険証券番号、加入者パスワードを入力する。この保険金支払い要求は、リンクによって保険会社サーバ21へ通知される（ステップS15）。これを受けて、保険会社21では、保険金支払いの審査を行い、保険金支払いの決定がされれば保険会社サーバ21において、保険金（補償金）の決済が行われる（ステップS16）。そして、保険会社サーバ21は、電子メールによって受取主5に対して保険金支払い通知が行われる（ステップS17）。

【0035】なお、前述した説明では、保険に加入する

権利の贈答を専用用紙によるギフト券によって行うようにしたが、ギフト券に代わって、保険加入権利を電子データによって授受するようにしてもよい。このとき、図2に示すステップS6のギフト券を送る動作に代えて、保険加入権利の販売時（図2ではステップS4に相当）に、贈り先を予め送り主が入力するようにして、ギフト運用サーバ11が電子メールによって受取主に贈り物があることを通知するようにしてもよい。

【0036】図4にこのとき送られる電子メールの一例を示す。図4において、符号B3は、図3に示す認証番号B2に相当する番号である。また、符号Uは、ギフト運用サーバ11のURLである。このURLをマウスでクリックすることにより、ギフト運用サーバ11に接続され、申込画面に対して電子メールに含まれる認証番号B3を入力すれば保険加入の申込（図2ではステップS7に相当）を端末から行うことができる。このようにすることによって、ギフト券の授受を行う必要がなくなるため、不正使用を防止することができるとともに、迅速に贈答及び保険加入の申込を行うことが可能となる。

【0037】また、ギフト券及び保険加入権利の額面は、上記の3種類の金額に限ることなく、500円の整数倍の金額となってもよい。例えば、3000円のギフト券1枚を贈られた場合、補償金額500万円（保険料500円）、補償金額800万円（保険料1000円）、補償金額1200万円（保険料1500円）にそれぞれ1回ずつ異なる補償金額又は期間の加入申込を行ってもよいし、補償金額500万円（保険料500円）を同時に異なる6人が加入するようにしてもよい。このとき、保険の加入権利またはギフト券の残額はギフト運用サーバ11が申込の度に減額するようにすればよい。

【0038】さらに、上記の3種類の保険種類も受取主5が申込の時に任意に選択するようにしてもよい。また、ギフト券を購入した者が自身で保険加入を行ってもよい。すなわち、前述した受取主と送り主が同一であり、保険のギフト券を前払いの保険加入権利の券として使用してもよい。このように予め購入しておくことにより、急に保険に加入したい場合などに簡単な手続きで保険加入が可能となる。

【0039】また、図2に示す処理の機能を実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することにより保険ギフト処理を行ってもよい。なお、ここでいう「コンピュータシステム」とは、OSや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータシステム」は、WWWシステムを利用している場合であれば、ホームページ提供環境（あるいは表示環境）も含むものとする。

【0040】また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フロッピー（登録商標）ディスク、光磁気

ディスク、ROM、CD-ROM等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムが送信された場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリ（RAM）のように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。

【0041】また、上記プログラムは、このプログラムを記憶装置等に格納したコンピュータシステムから、伝送媒体を介して、あるいは、伝送媒体中の伝送波により他のコンピュータシステムに伝送されてもよい。ここで、プログラムを伝送する「伝送媒体」は、インターネット等のネットワーク（通信網）や電話回線等の通信回線（通信線）のように情報を伝送する機能を有する媒体のことをいう。また、上記プログラムは、前述した機能の一部を実現するためのものであってもよい。さらに、前述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるもの、いわゆる差分ファイル（差分プログラム）であってもよい。

【0042】以上、本発明を説明したが、本発明はその目的に沿う限り種々の変形例が可能である。例えば、保険ギフト以外にも、種々のサービスのギフトにも当然適用可能である。

【0043】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、保険に加入する権利をギフト商品としたため、保険会社は、契約の拡大を図ることができるという効果が得られる。また、ギフトによって保険に加入する権利を貰った者は、例えば急遽ゴルフや旅行に行くことになったような場合でも簡単な手続きで保険に加入することができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の一実施形態の構成を示すブロック図である。

【図2】図2は、保険ギフトの処理動作を示すシーケンス図である。

【図3】図3は、ギフト券の一例を示す説明図である。

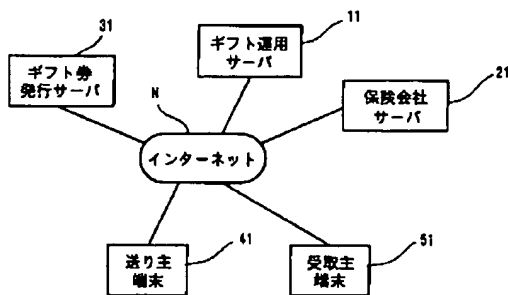
【図4】図4は、表示画面の一例を示す説明図である。

【図5】図5は、各業者の関係を示す説明図である。

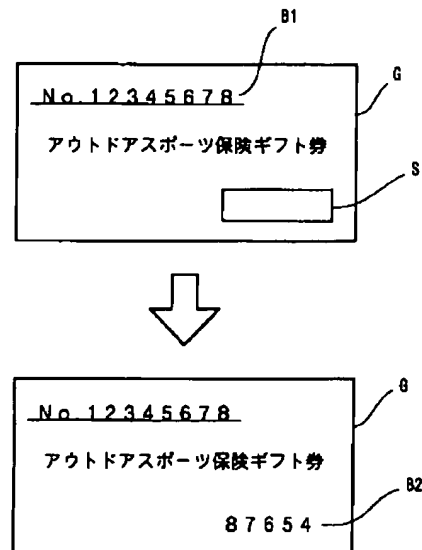
【符号の説明】

- 1・・・保険ギフト運用会社
- 2・・・保険会社
- 3・・・ギフト券発行会社
- 4・・・送り主
- 5・・・受取主
- 11・・・ギフト運用サーバ
- 21・・・保険会社サーバ
- 31・・・ギフト券発行サーバ
- 41・・・送り主端末
- 51・・・受取主端末

【図1】

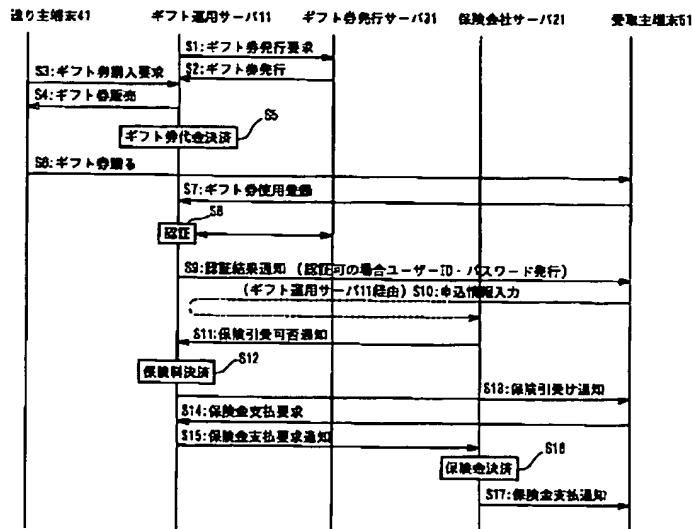


【図3】

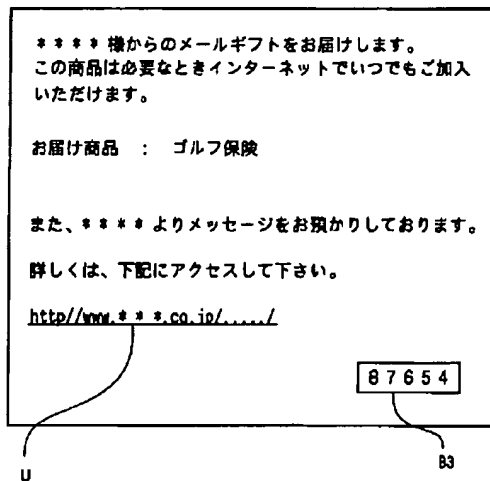




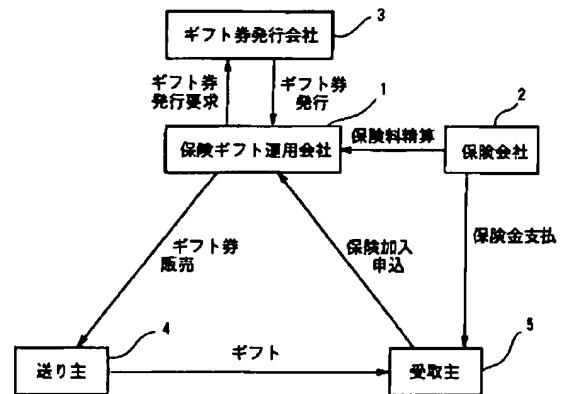
【図2】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 島田 公一  
東京都渋谷区恵比寿1-28-1 あいおい  
損害保険株式会社内

(72)発明者 千足 哲也  
東京都渋谷区恵比寿1-28-1 あいおい  
損害保険株式会社内